

写真を利用した斜面防災

「必要なときに、必要な個所を、
迅速に写真・図面を作成」



防災分野では、災害地や危険な急傾斜地などが調査・設計の対象となります。そこで、迅速かつ安全に目的を達成できる手段として、「小型ヘリによる空中写真」と「三次元写真計測システム」を提案します。

小型ヘリによる空中写真

三次元写真計測システム

低コストで機動性のある
新しい調査システム

【小型ヘリによる空中写真】

～見たいところが見える写真を撮ります～

- 低空での鮮明な写真撮影を実現
- 崖や法面の全景が見える「斜め写真」の撮影
- 小型ヘリによる機動性と低価格
- 三次元写真計測システムへの展開



- 対策工の履歴管理
- 災害箇所履歴管理
- 危険箇所管理

たとえば・・・

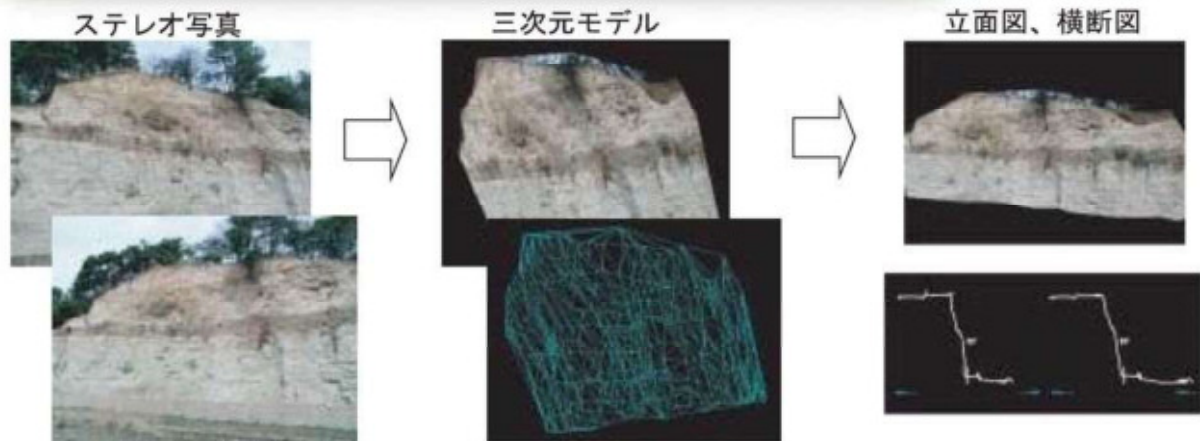
- ◆災害箇所の調査
- ◆落石・浮石箇所の点検・調査
- ◆法面の変状調査
- ◆斜面維持管理での利用（写真道路台帳、GISへの展開）

図面だけでなく、写真で管理しませんか
→ 解りやすい、豊富な情報、現場感覚での評価

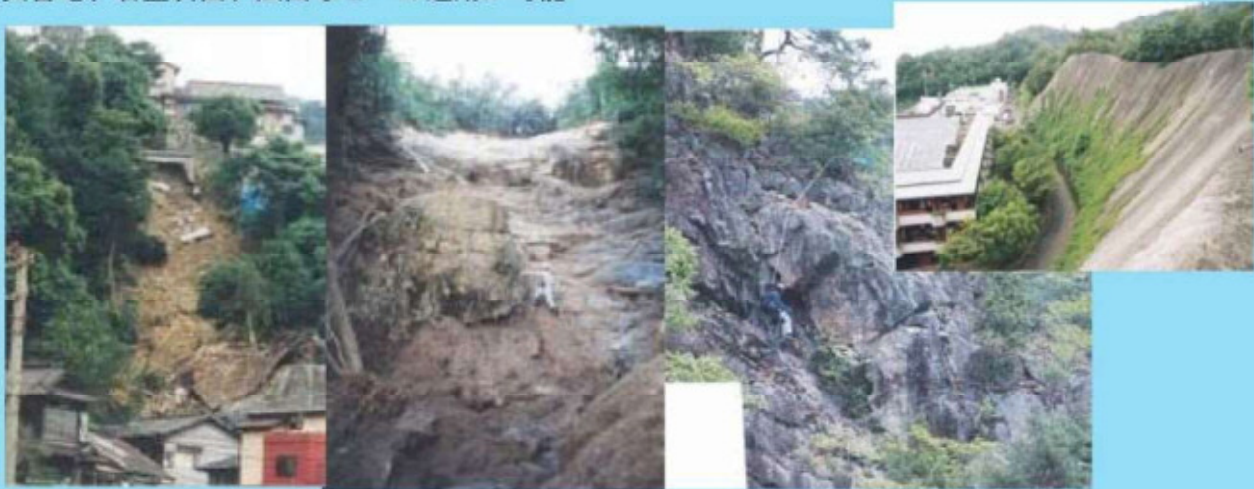
【三次元写真計測システム】

～デジタル写真から図面を作ります～

- 実測なしに平面図・断面図・展開図などを迅速に作成
- 任意の位置での必要な断面図を作成（微地形を反映）
- 標定点を設置すれば、さらに精度がアップ
- 地上からの写真の利用も可能
- 経年変化も管理可能



災害地、岩盤斜面、法面などへの適用が可能



たとえば・・・

- ◆ 災害地での図面作成
- ◆ 急傾斜地での図面作成
- ◆ 岩盤斜面の不安定岩塊の把握（特にオーバーハング状況）
- ◆ 簡易オルソフォトの作成
- ◆ 危険箇所を経年変化の把握（変位を写真と座標で管理）

フロー

